

特集

リサイクル率向上を目指します 赤土リサイクルステーションの皆さまに聴きました

循環型社会の推進を図るために、赤土リサイクルステーションが設置されました。当リサイクルステーションで収集されるリサイクル品は、市内全体で収集される量の約30%に達するそうです。現在、8名のシルバー会員の皆さまによって、休祭日を問わず、毎日赤土リサイクルステーションの運営管理を行っていただいております。



落合さん（左）秋田さん（中）福嶋さん（右）



秋田さん

〈やりがいを感じられる瞬間は〉

- ・分別をしっかりとって搬入してくれたとき。
- ・「お疲れ様」と感謝されたとき。

〈利用者が多い時間帯や曜日は〉

- ・休日には朝から多くの方がみえる。
- ・平日は、通勤途中だと思えますが、始業からと、終業1時間前に多くの方がみえる。

〈回収するゴミの中で、持ち込みの多いものの種類は〉

- ・廃プラが最も多く、続いてペットボトル、アルミ缶が多い。

市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、公益社団法人菊川市シルバー人材センター会員の、赤土リサイクルステーションでお仕事をされている皆さまに、ご苦労等について伺いました。

〈夏の暑さが厳しくなったが、持ち込まれるリサイクル品に変化は〉

- ・ペットボトルが多くなった。
- ・季節には関係ないが、食用油の回収が多くなった。

〈市民に知ってほしいリサイクル品の出し方で注意してほしいことは〉

- ・電池、スプレー缶等の回収できない物の持込や、スチール缶とアルミ缶の分別、キャンプの外し忘れ等に注意してほしい。



福嶋さん

〈外国籍の方の利用はどれくらいありますか〉

- ・外国籍の方の利用は1割程度ですが、皆さんルールをしっかりと守ってくれます。